

平成23年度科学・技術関係
予算概算要求
全体ヒアリング資料

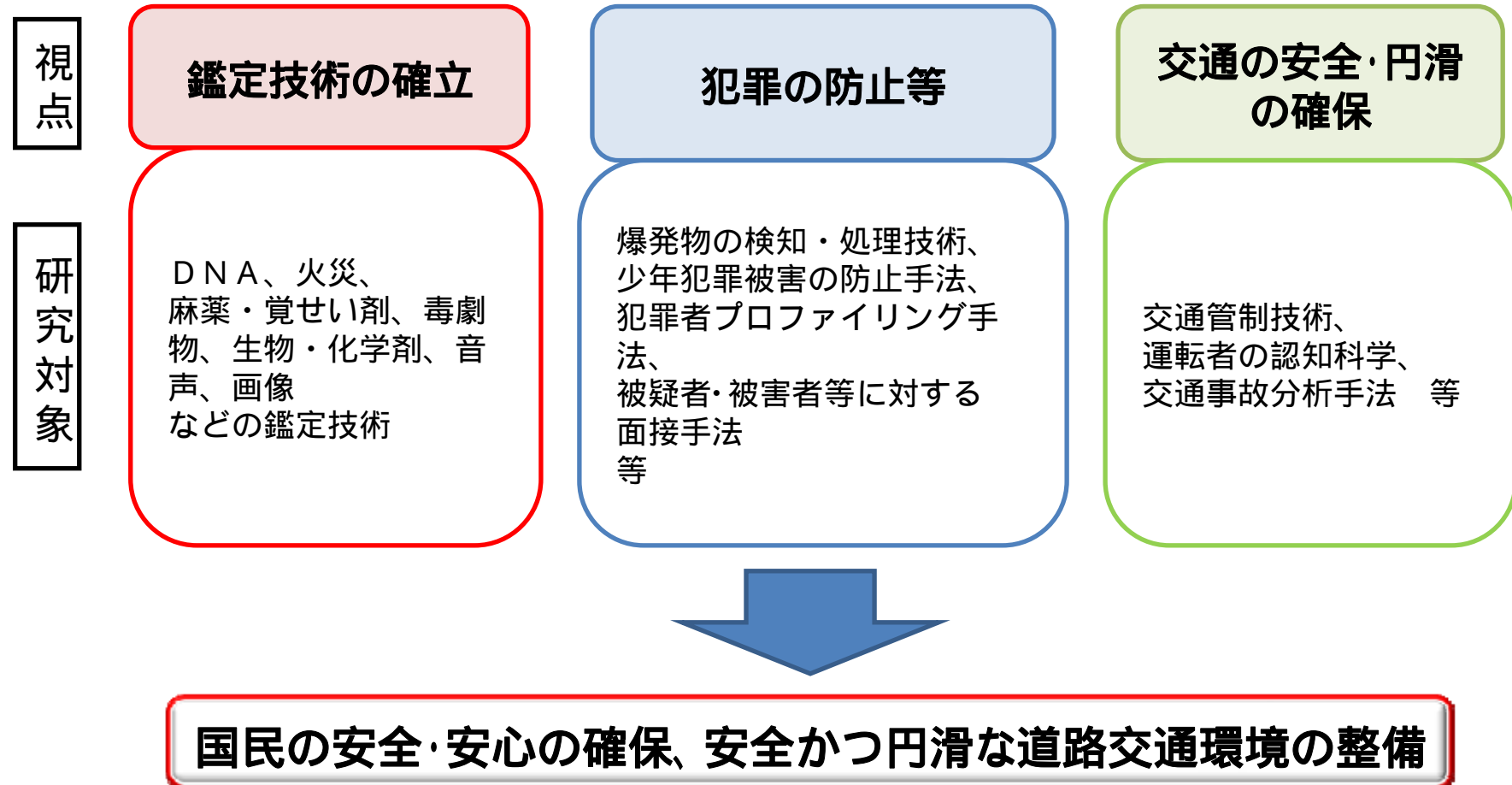
平成22年9月2日

警察庁

警察における科学・技術研究開発

警察では、以下の警察における科学・技術研究開発の視点を軸に科学捜査、犯罪の防止、交通事故防止等について研究を行い、国民の安全・安心の確保と道路交通の安全と円滑の確保を行っている。

警察における科学・技術研究開発の視点と研究対象



概算要求の基本的考え方

23年度資源配分の方針における重点化対象課題(警察庁該当課題)

.2(3) 豊かな国民生活基盤
～ 犯罪等からの安全確保に関する技術～

.1(1) グリーン・イノベーション
～ 交通等の社会インフラのグリーン化～

重点化対象課題に該当する警察庁の施策(23年度概算要求・要望項目)

飲酒運転者の医学・心理学的な判定法に関する研究
高度な交通事故分析技術の開発 (A判定)

火災鑑定におけるシミュレーション技術
実用化に関する研究
ハプロタイプ解析による生物学的資料
の個人識別に関する研究 (S判定)
毒薬物多成分迅速スクリーニング技術
に関する研究 (A判定)

被疑者・被害者等に対する面接手法の
行動科学的研究 (A判定)

交通の安全・円滑の
確保

高度道路交通システムによる環境指向
モデル事業の実施

鑑定技術の確立

22年度予算との比較
22年度予算額と比して、23年度予算要求額が減少
しているが、これは研究の進捗を踏まえ、必要額
が減少したものである。
昨年度の優先度判定結果においてSやA判定を
受けた研究課題を始めとして、重点化対象課題
に該当する施策に必要な研究費はすべて盛り込
まれている。

犯罪の防止等

概算要求組替え基準への対応
科学・技術関係予算については、非常に重要な分野で
あることから、必要額を精査した上で、必要かつ十分
な研究費を要求している。

:23年度の新規施策 :昨年度までの度優先度判定結果

昨年度の総括的見解への対応状況

指摘事項

平成22年度概算要求における科学技術関係施策の優先度判定等にあたっての総括的見解より

警察庁として、開発された技術が都道府県警において活用されるように推進することにより技術普及を促進することについても検討すべきである。

最新の科学技術を活用した事件解決例の公表等、科学技術の進展が事件解決に貢献していることを国民に対して分かりやすく伝えるような取組みを一層推進していくことが重要である。

自ら技術開発に取り組むことに加え、他の機関が開発する技術のユーザーとして、どのような技術開発が必要かを発信し、他の機関における技術開発を促す取組も重要である。

対応状況

従来から科学警察研究所で開発した最新技術は、同研究所に置かれる法科学研修所において都道府県警察へ技術移転を行うとともに、必要な機材やシステムを全国へ整備し、科学捜査の現場で活用されており、今後も引き続き普及に努めていく。

【開発した最新技術の例】

- ・STR型検査やSNPs検査など最新のDNA型鑑定法
- ・大型放射光施設を用いた微量不純物分析に基づく毒物の異同識別法
- ・新型ポリグラフ装置を用いた検査法
- ・犯罪者プロファイリング手法

等

科学技術の活用例は警察白書や個別事件の捜査事案の報道発表において公表しているが、今後は、科学警察研究所の研究成果についても、アウトリーチ活動等を通して、広く国民に対して分かりやすく伝えることに努めていく。

22年度から新たに科学技術振興調整費(安全・安心な社会のための犯罪・テロ対策技術等を実用化するプログラム)や中小企業技術革新制度を活用した事業に参画し、当庁が示したニーズを基にした研究開発が大学や企業において行われている。

【開発中の技術の例】

- ・薬物検知用オンサイト質量分析計の開発
- ・化学剤の網羅的迅速検知システムの開発
- ・高機能防弾衣の研究開発

等

科学警察研究所の戦略的な目標と 目標達成のための取組

科学警察研究所

犯罪科学に関する総合的な研究機関であり、科学捜査についての研究・実験及びこれらを応用する鑑定・検査、犯罪の防止等についての研究・実験並びに交通事故の防止その他交通警察についての研究・実験を実施。

戦略的な目標

犯罪・事故対策や交通の円滑化の面で貢献できる技術の研究開発を実施し、その成果を警察活動に生かすことにより、国民の安全・安心を確保するとともに、安全かつ円滑な道路交通環境を整備する。

目標達成のための取組

警察庁内部部局のニーズを把握

課題の選定に際し、社会情勢、治安情勢を考慮し、運用側である警察庁内部部局のニーズを十分に反映したものとし、政策との一体化を図る。

国内外の研究機関との連携

他の研究機関、海外の関係機関等と情報交換を密に行い、常に最新の技術動向に目を向けるとともに、共同研究等を通じて、研究開発の効率化を図る。

外部有識者による評価

研究開発の事前・事後の段階において外部有識者の評価を受けることにより、研究開発力の強化につなげる。

科学警察研究所の平成23年度における科学・技術研究開発の方向性

23年度の方向性

警察における科学・技術研究開発の視点と平成23年度の科学・技術に関する予算等の資源配分の方針に沿い、治安情勢・社会情勢を考慮し、国民の安全・安心を確保するための緊急性の高い研究・開発を警察における科学・技術研究開発の視点の項目ごとに実施。

警察における科学・技術研究開発の視点

23年度に実施予定の重点化対象課題該当項目

鑑定技術の確立

火災鑑定におけるシミュレーション技術実用化に関する研究
ハプロタイプ解析による生物学的資料の個人識別に関する研究
毒薬物多成分迅速スクリーニング技術に関する研究

犯罪の防止等

被疑者・被害者等に対する面接手法の行動科学的研究

交通の安全・円滑の確保

飲酒運転者の医学・心理学的な判定法に関する研究
高度な交通事故分析技術の開発

: 23年度の新規施策